

キセキ

～ 仲間とともに 笑顔と全力と思いやり ～

第2学年
学年通信
令和6年 8月 26日



夏休みもあとわずか キセキの2学期へ！

まもなく夏休みが終わろうとしています。今年の夏もやっぱりあつという間だったのではないのでしょうか。毎年のように繰り返される「今年の夏は暑い」…もう、温帯ではなく熱帯で生活しているといっても過言ではないぐらいの暑さでした。統計を開始した1898年以降の7月平均気温として、昨年の記録をさらに上回り、最も高くなったそうです。エアコンは必需品。一昔前は扇風機だけで過ごせた夜も、エアコンがなければ確実に熱中症になってしまうような暑さになっています。9月もまだまだ厳しくなりそうです。2学期、よいスタートを切るためにも、まずは生活リズムを整えて、睡眠時間をしっかりと確保しましょう。併せて、今まで以上に気持ちの面と体調面を整えて、笑顔で新学期を迎えることができるとよいです。なぜなら学校生活全体が、2年生中心へと移行していくからです。すでに、多くの部活動では、3年生から2年生へバトンタッチが行われています。生徒会活動も、10月には代替わりをします。憧れの先輩たちの姿に近づくために、行事など特別な時だけではなく、基盤である普段の学校生活から“坂中の顔”を意識して生活していきましょう。キセキの2学期へ、2年生全体で力強い一歩を踏み出すことを、今から熱烈に期待しています！



パリ五輪 努力と覚悟



東京五輪の記憶が昨日のここのように感じる気がするの、決して私だけではないはず…そんな中、パリ五輪が7月26日から8月11日まで開催されました。どの国の選手も、家族やチームメイトだけでなく、国民からの期待を一身に背負いながら試合の場に立っていました。結果として、輝かしい成績を残した選手もいれば、思うような結果を出すことができず、涙する選手もいました。中には、試合後に“疑惑の判定”ではないかと、SNSを介して様々な意見が飛び交ったこともありました。それでも、必死に結果を受け止める姿や、感謝の気持ちを忘れず気丈にふるまう姿など、日本の文化や礼節、思いやりなどを様々な場面で感じる事ができました。いかに努力しても結果がついてこないことは、一流の選手でも起こりうる事です。多くのことを犠牲にして、競技にすべてをかけて臨んだとしても、全員が表彰台に立つことはできません。結果を受け止める覚悟。競技に向き合う真摯な姿勢。感動だけでなく、いろいろなことを改めて考え学ぶことができました。パリ五輪、あなたの一番印象に残った場面はなんでしたか？

代表者発表会 立派でした！

7月12日に職場体験学習の代表者発表会を行いました。各学級の代表者だけあって、様々な視点から感じたことや今後に活かしていきたいことを話す姿は、堂々としていて大変立派でした。自分の想いを言葉で相手に伝えることは想像よりも難しく、経験が何よりも大切になります。社会に出ても大切なスキルの一つになるので、機会があればまた開催したいと思います。代表者の皆さん、すばらしい発表をありがとうございました。

